

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	奈良県	市町村名	
-------	-----	------	--

プロジェクト名	平城遷都1300年祭を契機としたインバウンド推進プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 平城京が誕生して1300年目にあたる2010年に開催される「平城遷都1300年祭」を一つの起爆剤に、各種キャンペーンや通訳ボランティアガイドの育成、宿泊施設の整備推進などにより、日本のまほろばである奈良の地を訪れる外国人来訪者を増やし、地域の活性化へと繋げる。</p> <p>(具体的な成果目標)外国人来訪者数 100万人(H22年) ※参考値 542千人(H20)</p>		
プロジェクトの期間	H18～H22	政策分野の分類 (①～⑪)	⑥観光振興・交流プロジェクト
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://cms01.pref.nara.jp/dd1168.aspx?menuid=12191		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)	
外国人観光客誘致戦略 ビジットならキャンペーン	近隣府県・民間団体や国と連携し、東アジア・米国を対象にビジット・ジャパン・キャンペーンを活用した効果的・効率的な観光客誘致事業を展開 (1)トップセールスの成果を活用したプロモーション事業 本県への来訪者が多い東アジアの国々において官民一体となった観光プロモーションを実施	50,000	
	(2)奈良滞在型旅行商品造成・販売促進事業 中国・韓国等東アジアと奈良とのゆかり等を活用し、奈良の認知度向上及び奈良滞在型の旅行商品造成・販売により、誘客を促進 (3)広域連携促進事業	(20,500)	
上海国際博覧会 出展事業	平成22年に開催される上海国際博覧会に出展し、奈良の認知度を向上させることにより、中国人観光客及び上海国際博覧会を訪れた外国人観光客の奈良への誘客を促進	40,000	
		(4,500)	

中国・韓国とのゆかり発信事業	中国・韓国と奈良とのゆかりに関する情報の発信により、観光客に対するもてなしを向上するとともに中国・韓国からの誘客を促進 (1)ゆかりマップの作成 ゆかりをわかりやすく盛り込んだマップを作成し、来県観光客に配布 (2)ゆかり解説データ集の作成 ゆかりに関する写真や解説文を掲載したデータ集(冊子及びCD)を作成し、海外のエージェント及びマスコミに配布 (3)ゆかりエキスパートの養成 通訳案内士や外国語観光ボランティアガイドを対象に、ゆかりに関する研修会を実施	20,000
		(12,100)
平城遷都1300年祭の実施	奈良の都平城京の誕生(西暦710年)から1300年に当たる2010年を契機に、日本の歴史・文化が連綿と続いたことを“祝い、感謝する”とともに、“日本はじまり 奈良”を素材にこれからの日本の未来について“考える”機会として、「平城遷都1300年祭」を開催。多様な文化イベントを奈良市の平城宮跡、奈良県内、関西各地で一年間展開し、これらを通じて日本の歴史・文化や奈良のアイデンティティを国の内外へと発信する。 ・平城宮跡事業(平城遷都1300年記念祝典、平城京フェアの開催 他) ・県内各地事業(現地秘宝・秘伝特別公開、地域イベントの開催他) ・関連広域事業(東アジア未来会議奈良2010(東アジア地方政府会合、APEC観光大臣会合、世界宗教者平和会議40周年記念事業、世界歴史都市会議等)、各種コンベンション、フォーラムの開催、海外との連携イベント 他) ・事前展開事業(プレイベントの開催 他)	(3,256,500)
東アジア地方政府会合推進事業	歴史的、地域的に関係の深い日本・中国・韓国の地方政府が中心となった会合を開催し、東アジアの安定的発展と、友好・信頼の構築を目指し、地方振興に密接に関係するテーマや各国地方政府の課題について幅広い討議を行う。	(80,000)
弥勒プロジェクト推進事業	我が国や東アジアを取り巻く現下の国際的課題を克服するため、歴史の変遷を振り返り、歴史の知恵を学びくみ取り、その中から我が国の新たな基軸を発見再構築して、これからの百年を見通した、日本と東アジアが目指すべき進路を構想し、2010年に「平城京レポート」として採択発信する。	(83,400)
「奈良の歴史と魅力」を発信する映像の制作	奈良の歴史的資源の再発見につながる映像コンテンツを制作し、奈良の魅力を国内外に発信する。	128,000
		(75,600)
万葉文化の発信と交流	H13年に「万葉集」を中心とする古代文化に関する総合文化拠点として、明日香村に「万葉文化館」を設置し、下記の3つの方針を軸に事業展開。また、平成21年度から中南和地域での滞在時間や周遊観光につなげるため、館内に観光インフォメーションコーナーを設置し、中南和地域等の観光イベント情報等の提供・発信にも取り組む。 記 1. <調査研究機能>万葉集の文化的意義や万葉の時代の文化や生活等に関する総合研究と情報の発信 2. <展事機能>万葉日本画等の展示 3. <図書・情報サービス>万葉文化に関わる図書資料の収集と万葉集のデータベースの情報提供	(348,458)

平城遷都1300年祭開催時の円滑な交通確保	1300年祭開催時の来場者を円滑に受け入れるため、2010年に向けて、奈良の新しい玄関口としてJR奈良駅付近の鉄道を高架化し、踏切による渋滞や事故をなくすとともに、一般国道308号(大宮道路)、県道奈良生駒線(都市計画道路三条菅原線・大森高畑線)の整備を進める。	51,298,800
		(11,790,000)
自律移動支援プロジェクト事業	奈良を訪れる観光客が、移動経路や観光案内等に関する情報を「いつでも、どこでも、だれでも」入手できるユビキタスな環境を構築するために、実証実験を行う。	
		(50,000)
サイクリングロードの利用促進	奈良自転車道、大和中央自転車道、飛鳥葛城自転車道の利用促進を図るため、レンタサイクルの活用を検討するとともに、多目的な案内や休憩スポットの充実、カラー舗装化を行う。	
		(87,000)
総 計		51,536,800 (一部未定)
		(15,808,058)
その他特記事項		